

# 勝鬨橋ミニツアー 活動20年間の歩み

平成17年5月に活動を開始した「勝鬨橋ミニツアー」。今年20周年を迎え、この間の歩みをまとめました。地道な努力の積み重ねですが、やがて大きな足跡となるでしょう。

## 勝鬨橋のミニツアー活動20周年を迎えて

東京都建設防災ボランティア協会会長 相場 淳司



### 勝どき橋ミニツアー20周年及び来場者1万人達成、おめでとうございます。

日頃より、本活動を支えていただいております東京都建設局、東京都道路整備保全公社を初めとした関係者の皆様、そして会員の皆様に改めて感謝を申し上げます。

本活動には、これまで延べ1,291回、3,076人のガイド（会員）が関わってきました。当協会の設立目的は、言うまでもなく大規模災害発生時の支援活動ですが、勝鬨橋のミニツアーガイド活動は、会員相互の貴重な情報交換の場となるなど、協会活動

の大きな柱の一つとなっています。

ツアー設立当初には、様々なご苦労があったとお聞きしています。ツアーを立ち上げ、ガイドの仕組みを構築、充実してくださった諸先輩方の御尽力に心より敬意を表します。

修繕工事や新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ツアーを中止した時期もありましたが、4年間の休止を経て、令和4年に再開され、開始以来大きな事故もなく先日来場者1万人を達成できました。

勝どき橋に隣接する築地市場は、関東大震災の復興計画の一環として昭和10年に開場しています。昭和15年に完成した勝鬨橋は、築地市場とともに歩み、そしてその後、平成30年の豊洲市場への移転や、東京2020オリパラ大会の輸送拠点、市場移転と並行して進められた環状2号線の整備など、このまちの変化をずっと見守ってきました。そして今新たに水と緑に囲まれ、新しい文化を創造、発信する拠点へと変わりつつある築地跡地の様子を見守り続けることでしょう。

建設局や公社の皆様には、ミニツアーガイド活動への変わらぬご支援をお願いし、会員の皆様とともに、次の10年に向けて、勝どき橋の魅力やインフラ施設の重要性を末永く後世に伝えていきたいと思えます。ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## 20周年おめでとう

東京都建設局長 花井 徹夫



このたび、「勝鬨橋 橋脚内見学ツアー」が20周年を迎えられたことに、心よりお祝い申し上げます。本ツアーは平成17年5月に始まり、東京の歴史と文化を次世代へ伝える貴重な取り組みとして、多くの方々に親しまれてきました。勝鬨橋は昭和15年に建設され、日本最大級の可動橋として、当時の最新技術を結集したシカゴ型二葉跳開式の構造を持ち、土木技術史において特筆すべき存在です。戦後は東京の発展を支え、現在も隅田川の景観を彩っています。

このツアーは、橋の構造美や技術的・文化的価値を広く伝え、20年にわたり多くの来訪者に感動と学びを提供してきました。こうした活動を続けてこられたのは、東京都建設防災ボランティア協会の皆様のご熱意とご尽力の賜物です。今後も勝鬨橋ミニツアーが地域の文化的活動として、長きにわたり受け継がれていくことを心よりお祈り申し上げます。改めて、20周年の慶びを皆様と分かち合い、関係者各位のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

# 勝鬨橋勝鬨橋ミニツアー20周年に寄せて

(公財)東京都道路整備保全公社理事長 湯川雅史



勝鬨橋ミニツアー20周年、おめでとうございます。橋梁という一般的には堅苦しい？と思われる土木構造物に光を当て、多くの都民から関心をいただき、長く続いているこの勝鬨橋ミニツアーは、ひとえに防災ボランティア協会の多くの先輩方が参加した人々から安心と信頼を得た結果です。本年こうして20周年の節目の年を迎えられましたことは、関係者一同の不断の努力と高い使命感の賜物であり、心より敬意を表します。

勝鬨橋ミニツアー参加される都民は、子供からシニアまで年齢層も幅広く橋梁の知識も様々であることから、わかりやすい説明や専門的なあるいは抽象的な疑問への回答など、臨機応変な対応が必要と考えますが、そうした場面での皆様方の培った専門性を発揮した説明と誠実な対応が参加者から高い評価をいただいております。また、参加者からのそうしたご意見に触れるたびに、私も都庁職員の末席として、誇らしい気持ちになります。

勝鬨橋ミニツアーは、今年の8月28日に参加者がのべ1万人を超えました。これまで参加されたお一人お一人の心に、勝鬨橋は光を灯し続けることでしょうか。我々も先輩方が残してくれた土木遺産を守りつつ、新たな将来に語り継がれる土木構造物を作っていききたいものです。

現在、工事の関係で勝鬨橋ミニツアーは休止中ですが、再開の折にはまたご支援、ご協力を賜りながら、土木遺産見学の代表的な事例として、末永く続いていくことを祈念しております。

## 勝鬨橋橋脚内ミニツアーの案内活動あれこれ

東京都建設防災ボランティア協会監事 新井 敏男

平成17年(2005年)5月12日に第1回の勝鬨橋橋脚内ミニツアーの案内活動が始まり、当時、案内活動は5名一組の18班で構成されました。私は第1班に配属され第1回の案内活動を担当することになり、説明役を仰せつかりました。大変緊張した記憶が思い出されます。

今年(2025年)で20年目に入り班活動も58巡目になっております。しかも8月28日には見学者が1万人に達しました。案内活動20年を振り返ると色んなことがありました。「かちどき 橋の資料館」が平成17年5月1日にオープンしそれに合わせて活動が開始されましたが、当時の担当役員の用意周到な準備のお陰でした。協力会員への2回の研修会、リハーサル、安全への配慮等々がありました。

当初、ミニツアー行動要領に基づき案内をしてきましたが、その後、「勝鬨橋ミニツアーガイドブック」(2回改訂)が作成されました。案内活動は毎週木曜日午前、午後2回計4回案内していましたが、夏の暑い日、冬の寒い日はガイドも結構厳しいものがありました。現在は1日2回と変更されました。ガイドはおおむね3ヶ月に一度のローテーションとなっています。

活動開始から多くのメディアにも取り上げられました。NHKの「ちいさな旅」をはじめ、民放、雑誌、コミュニティ紙等々でした。NHK国際テレビでは友人が海外で私のガイドを観たとのこと大変驚きました。見学者も多くの方に来ていただきました。皆さん、興味深く、感激していたように思えます。お子さんも多く老若男女問わず来ていたように思います。一度全盲の方を案内した経験があります。もちろん介添えの方がいらっしゃいましたが、感覚で概要が分かったそうです。今後も多くの方を案内していきたいと思っております。

勝鬨橋ミニツアーも大きな変化がありました。勝鬨橋長寿命化工事のため平成30年1月より中断せざるを得なくなりました。そしてミニツアーの代わりとして平成30年4月より「隅田川著名橋等ミニツアー」を開始しました。毎月第4週の木曜日に実施しました。勝鬨橋の概要説明、明石町発着場から浅草寺二天門発着場迄水上バスに見学者を乗せ、隅田川の著名橋を説明するというものでした。これにも多くの見学者に来ていただき好評でした。ガイドは3班構成の会員にお願いしました。これも担当役員に「隅

田川著名橋等ツアーガイドブック」作成していただき大いに役に立ちました。しかしながら、令和元年2月以降コロナ禍により中止となりました。なお、その後の3年近くの間断を経て、コロナ禍が終息した令和5年1月12日よりミニツアーを再開しました。5年間のブランクはありましたが、ガイドブックを読み直ししたりして、無事、活動案内が現在まで続いています。

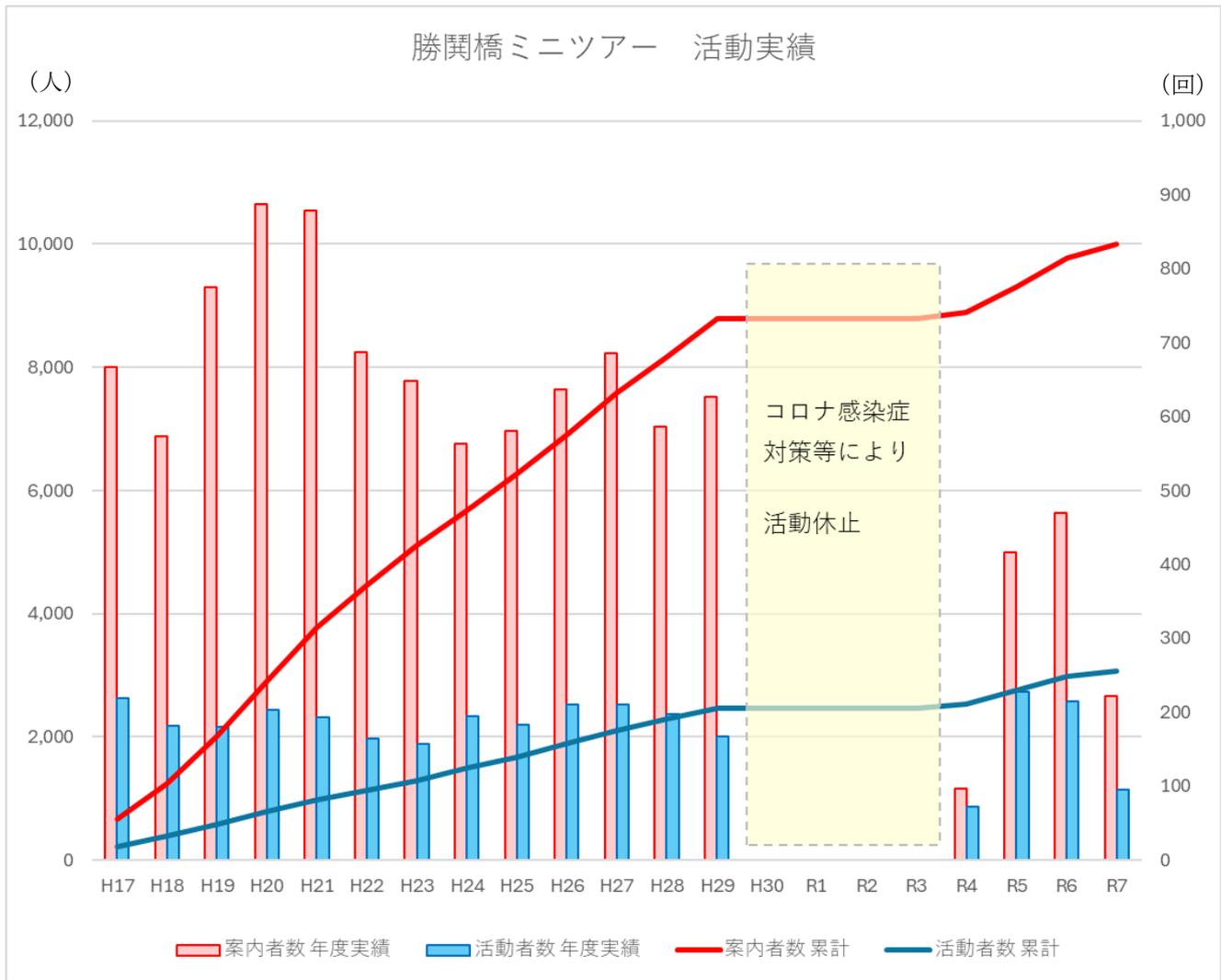
令和7年8月28日に見学者1万人の達成のイベントを実施しました。58巡目最終13班の方々、会長他関係者が集い、当日の見学者に記念品の贈呈、記念写真等盛大に祝いました。それ以降、勝関橋長寿命化工事が再開するため、ミニツアーを再度中断することとなりました。そのため、9月25日から、「隅田川著名橋等ツアーを再開することになりました。これは「浅草二天門～ウォーターズ竹芝」迄水上バスに乗船し著名橋を説明するものです。

この20年間、本当に色々の出来事がありました。その都度、建設局、道路整備保全公社、公園協会にご支援、ご協力をいただき難局を切り抜けてきました。今後、協力会員も切磋琢磨しミニツアーを充実したものにしていきたいと思えます。

## 案内活動の20年

ミニツアーの見学者数、活動日数、活動者数の推移は下表、下図のとおりです。コロナウィルスの影響等で一時中断もありましたが、再開以降、参加者数も再び盛り返しています。

活動実績						
年度	案内者数		活動者数		年間開催回数	
	年度実績	累計	年度実績	累計		
H17	667	<b>667</b>	219	<b>219</b>	128	<b>128</b>
H18	574	<b>1,241</b>	182	<b>401</b>	92	<b>220</b>
H19	775	<b>2,016</b>	180	<b>581</b>	131	<b>351</b>
H20	887	<b>2,903</b>	203	<b>784</b>	155	<b>506</b>
H21	879	<b>3,782</b>	194	<b>978</b>	142	<b>648</b>
H22	687	<b>4,469</b>	164	<b>1,142</b>	115	<b>763</b>
H23	648	<b>5,117</b>	158	<b>1,300</b>	113	<b>876</b>
H24	564	<b>5,681</b>	195	<b>1,495</b>	91	<b>967</b>
H25	581	<b>6,262</b>	183	<b>1,678</b>	100	<b>1,067</b>
H26	636	<b>6,898</b>	211	<b>1,889</b>	118	<b>1,185</b>
H27	685	<b>7,583</b>	211	<b>2,100</b>	134	<b>1,319</b>
H28	586	<b>8,169</b>	198	<b>2,298</b>	109	<b>1,428</b>
H29	627	<b>8,796</b>	168	<b>2,466</b>	111	<b>1,539</b>
H30	0	<b>8,796</b>	0	<b>2,466</b>		
R1	0	<b>8,796</b>	0	<b>2,466</b>		
R2	0	<b>8,796</b>	0	<b>2,466</b>		
R3	0	<b>8,796</b>	0	<b>2,466</b>		
R4	97	<b>8,893</b>	72	<b>2,538</b>	20	<b>1,559</b>
R5	417	<b>9,310</b>	228	<b>2,766</b>	82	<b>1,641</b>
R6	469	<b>9,779</b>	215	<b>2,981</b>	85	<b>1,726</b>
R7	222	<b>10,001</b>	95	<b>3,076</b>	37	<b>1,763</b>
<備考>						
・H17年度は、5/11より開始						
・H30～R3年度は、コロナ禍及び塗装工事の影響により中止						
・R7年度は、8/28実施分まで。以降は塗装工事により休止						



### 隅田川著名橋等ツアー(代替ツアー)の実施について

この20年間の「勝どき橋ミニツアー」には平成30年1月から令和2年1月まで塗装工事による中止期間があり、その間実施された「隅田川著名橋等ツアー」は、約2年間で開催回数 20 回、参加者 310 人、会員延べ活動人数 176 人でした。再開を目前に新型コロナウイルスの蔓延によりその後の活動が全て中止となり、再開は令和5年1月となりました。

また、見学者1万人達成後の令和7年9月から塗装工事により見学ツアーは再度休止となりました。代替ツアーとして「隅田川著名橋等ツアー」を2回実施し、参加者 36 名、会員活動人数延べ 32 人でした。

#### 【2025.9.4 会員向事前講習会】



#### 【2025.10.30 隅田川著名橋等ツアーの実施状況】 2回開催、計36名が参加、抽選倍率 4~6 倍



# 勝鬨橋ミニツアー20年のあゆみ

## 月日 ミニツアーのできごと

## 月 主な記事、放送、社会

### 平成9年（1997）

- 6 15 東京都建設防災ボランティア協会設立

- 10 サッカーW杯初出場決定

### 平成16年（2004）

建設局で勝鬨橋の歴史や跳開橋の仕組みを広く市民に公開するため、橋台敷に資料館を開館し、開閉部分の見学可能とするよう検討を開始。協会に対し人的支援協力の打診。

- 10 新潟中越地震

### 平成17年（2005）

- 1 下 協会員156名に意向調査の実施→協力可能申出91名
- 2 9 91名を対象に現地調査と活動案の説明
- 2 末 支援協力者の確認：85名参加
- 3 ~ 建設局、道路整備保全公社、第一建設事務所等関係機関と開始時期、案内体制、回数等の協議。
- 4 14 ミニツアーを実施する3者（建設局、公社、協会）による『「かちどき 橋の資料館」の公開・運営並びにミニツアー等の基本協定』の締結
- 4 橋脚内見学ツアー用説明マニュアルの作成
- 4 25 支援者への事前研修
- 4 29 「かちどき 橋の資料館」開館
- 5 12 ミニツアー開始（一班5名体制、総勢87名、18班）
- 5 13 「ミニツアー行動要領（改訂版）」の作成

- 4 JR西日本尼崎脱線事故
- 8 米国ハリケーン「カトリーナ」
- 10 パキスタン北東部で大地震
- 11 マンションの耐震強度偽装

◆◆勝鬨橋の開閉装置がご覧になれます◆◆

**勝鬨橋 見学ツアーのご案内**

勝鬨橋は、昭和15年（1940）に隅田川河口部に築造された、わが国で最大規模を誇る可動橋です。  
橋の中央部分に「A」の字型に据り、1000トン級の大型開閉装置が設置されています。  
橋脚内見学ツアーは、橋や開閉装置に関する高度な技術が上流から下流に伝わる仕組みの仕組みが多くのの方に知っていただくための開催となります。  
ツアーでは、開閉橋の歴史や開閉装置の解説など、東京都建設局防災ボランティア協会がご案内いたします。  
なお、見学・研修希望の方はツアー申込書をお送りください。（申し込み方法は裏面に記載されています。）




※写真は橋脚内の開閉装置です。お昼の時間帯は見学できません。  
◆ 東京都建設局  
◆ 東京道路整備保全公社

### 平成18年（2006）

- 5 11 ミニツアー1周年  
研修会：勝鬨橋の記憶・木住野館長

- 2 トリノ五輪荒川静香金メダル

### 平成19年（2007）

- 5 12 研修会：勝どき橋の構造や特徴などの紹介・木住野館長
- 6 18 勝鬨橋、永代橋、清州橋の3橋が国の重要文化財に指定される。

- 10 日経コンストラクション「びろり、の土木日記」

### 平成20年（2008）

- 5 15 小冊子「勝鬨橋ミニツアーガイドブック」の作成  
研修会：①ガイドブックの内容説明  
②絵図に見る隅田川河口部の歴史・木住野館長

- 1 日テレ「ぶらり途中下車の旅」
- 9 リーマンショック

## 平成 21 年 (2009)

- 5 14 研修会：①橋梁の管理に関する中長期計画  
道路管理部 吉沢橋梁保全係長  
②跳開橋の記録・木住野館長

- 7 WBC で日本連覇  
8 毎日新聞「第8回子供サミット」

## 平成 22 年 (2010)

- 5 11 ミニツアー5周年  
5 13 研修会：諸外国における最新の可動橋事情 1・木住野館長  
11 30 橋の資料館増築工事完成

- 6 小惑星探査機はやぶさ帰還  
10 朝日新聞「東京ネットワーク」

## 平成 23 年 (2011)

- 3~6 震災影響確認のためミニツアー中断  
10 27 小冊子「勝鬨橋ミニツアーガイドブック」改定版の作成  
研修会：①ガイドブックの内容説明  
②ハネ橋の歴史・木住野館長

- 3 東日本大震災  
7 なでしこジャパンW杯優勝  
8 少年ジャンプ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」(コチ亀)

## 平成 24 年 (2012)

- 11 1 研修会：①環2隅田川橋梁(仮称)の工事概要  
第五建設事務所 多澤橋りょう建設課長  
②日本橋400年の沿革・井上館長

- 10 iPS細胞山中教授ノーベル賞

## 平成 25 年 (2013)

- 2 5 土木学会で発見された70年前の勝鬨橋映像が都に寄付される  
6~8 橋脚内電気設備工事の施行に伴い7回中止  
11 6 研修会：土木学会編勝鬨橋映画の放映と解説  
道路管理部 紅林橋梁構造専門課長

- 1 角川マガジズ「月島・豊洲ウォーカー」  
4 テレ朝「若大将のゆうゆう散歩」

## 平成 26 年 (2014)

- 1 案内ビデオ戦前の映像が含まれたものに変更  
11 11 研修会：橋あれこれ・井上館長

- 3 BSジャパン「空から日本を見てみよう」  
8 TBS「Nスタ」  
8 テレビ東京「出沒！アド街ック天国」

## 平成 27 年 (2015)

- 5 11 ミニツアー10周年  
11 26 研修会：橋を楽しもうー全国の珍橋・奇橋ー  
道路管理部 紅林橋梁構造専門課長

- 5 日刊スポーツ「オトナの社会見学」  
8 共同通信の取材・配信により全国の地方版に掲載

月 日	ミニツアーのできごと	月	主な記事、放送、社会
平成 28 年 (2016)			
8 4	参加したお子さんなどから、橋の絵やお礼の便りが届く	4	熊本地震
11 16	研修会：鉄道と橋 建設局道路管理部 紅林橋梁構造専門課長	7	東京新聞「東京どんぶらこ」 勝どき周辺を紹介
		7	舛添知事が辞職し、小池都知事が当選
平成 29 年 (2017)			
8 3	東京都第一市街地整備事務所の所内研修として、2日間にわたり土木職、事務職の 26 名が見学	1	米トランプ政権発足
11 27	研修会：①勝鬨橋の長寿命化工事について 建設局道路管理部 加藤橋梁構造専門課長 ②中断中の新たな取り組みについての提案と質疑	7	九州北部豪雨
12 28	塗装工事による一時中断前の最後の案内 ここまでの活動日数 555 日、活動延べ人数 2,466 名	11	朝日新聞「今昔まち話」 見学ツアーを紹介
平成 30 年 (2018)			
6	「隅田川著名橋等ツアーガイドブック」、「隅田川著名橋等ツアーマップ」、「隅田川の橋のはなし」を作成	2	平昌冬季五輪
3 20	隅田川著名橋等ツアー事前説明会（第 2 回は 4 月 19 日）	7	西日本豪雨
4 26	隅田川著名橋等ツアー開始	10	豊洲市場会場
11 28	研修会：隅田川著名橋等の現況と勝鬨橋の工事予定 建設局道路管理部 加藤橋梁構造専門課長	11	大谷翔平メジャー新人王
令和元年 (2019)			
12 3	研修会：①勝鬨橋の長寿命化事業について 建設局道路管理部 加藤橋梁構造専門課長 ②歴史と文化が見える橋 建設局道路建設部 紅林橋梁構造専門課長	10	東日本豪雨(台風 21 号により、千葉県、福島県等で 200 mm の豪雨)
令和 2 年 (2020)			
1 23	隅田川著名橋等ツアー終了（新型コロナウイルスの感染拡大により、最終予定の 2 月 27 日は中止） 開催回数 20 回、参加者 310 人、会員延べ活動人数 176 人	4	新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言発令
2 ~	ミニツアーの 5 月 14 日再開を決定。その準備として、4 月 21 日、28 日に内覧会を予定したものの、コロナ禍により全て中止となり再開も延期になる。	12	小惑星探査機「はやぶさ 2」帰還

令和3年(2021)		
	コロナ禍により、すべての活動停止	7 東京五輪1年延期で開催
令和4年(2022)		
1	4月の再開を目途に準備を開始したものの、コロナ禍により延期に	
6	令和5年1月の再開決定 ミニツアーガイドブック第3版完成	4 知床観光船沈没事故
12	8 研修会(橋の資料館で、2回に分けて開催)	7 新型コロナの感染者数が初めて1日20万人突破
15	①新しいガイドブックの説明 ②新たに導入するメットフォンの説明と試用 ③塗装工事が完了した橋脚内部の内覧	
令和5年(2023)		
1	12 5年ぶりにミニツアー再開 再開に当たって1日の案内回数、1回あたりの案内人数を変更	<b>ボラ協設立25周年</b>
11	29 研修会:復興は橋から~復興橋梁から何を学ぶか 道路整備保全公社道路部 紅林橋梁担当課長	5 新型コロナが「5類」へ移行
令和6年(2024)		
11	8 研修会:勝鬨橋と可動橋 道路整備保全公社道路部 紅林道路アセットマネジメント推進課長	1 能登半島地震、同日に羽田空港で日航機と海保機が衝突
令和7年(2025)		
4	ツアー開始から20周年を迎える	1 埼玉県八潮市で、下水道管の老朽化による道路陥没事故
8	28 ミニツアー参加者1万人達成 見学者に加え、建設局、保全公社、ボラ協会長、副会長をお迎えして記念イベントを開催	2 コメ価格高騰
8	29 勝鬨橋の塗装工事による一時中断前の最後の案内 ここまでの活動日数686日、活動回数1,763回 活動延べ人数3,737人、見学者数10,001人	4 大阪万博開催
9	4 代替え活動の「隅田川著名橋等ツアー」研修会開催	
10	30 隅田川著名橋等ツアー開始(9月25日の第1回は中止)	
11	14 研修会:①勝どき橋の修繕計画について 建設局道路管理部保全課 喜多野課長代理 ②浮世絵を彩った橋 道路整備保全公社道路部 紅林橋梁担当課長	9 全国で熊の被害相次ぐ
11	20 隅田川著名橋等ツアー終了 開催回数2回、参加者36人、活動延べ活動人32人	
令和8年(2026)		
4	ミニツアー再開予定	

### これまでミニツアーに協力された会員

20年間でミニツアー活動に参加された会員は187名に上ります。このうち6名が20年継続して活動を続けてこられました。現在は65名、13班の体制で年4回程度の案内をしています。これまでに参加された会員は以下のとおり

相場 淳司	奥秋 聡克	小山 完治	高橋 紀男	沼尻 孰	三原徹次郎
阿久津 勉	奥富 宣雄	小山 弘光	高橋 宏彰	根津 和近	宮崎 寿一
浅田 光昭	柿塚 至	小山 幸也	高橋 康夫	根本 康雄	宮崎 藤男
新井 國男	片岡 正英	金野 軍志	高橋 好弘	野村 孝雄	宮寺 考臣
新井 敏男	方波見 毅	雑賀 徹	高橋 義明	野村 隆	村松 栄治
荒井 一郎	香月 雄爽	西郷 靖	高松 巖	橋本 一郎	望月 裕
荒川 晃	加藤 俊武	斉藤 俊之	高本 正彦	橋本 栄良	桃原 文夫
荒木 清	加藤 直宣	坂元 俊久	滝澤 勝	長谷川光子	森田 秀樹
飯山鐵之助	加藤 昌宏	笹村 正行	田口 嘉隆	早川 一	森田 幹男
生田 育良	加藤 基雄	佐藤 肇	武内 利夫	林 健一郎	柳川 修
池田 繁敏	鹿又 和夫	佐藤 清美	竹内 壮之	林 幹生	柳川 宣彦
池野 鎮雄	加山 宏	佐藤 恭章	武田 稔	平田 忠男	矢野 未義
伊佐 賢一	川合 康文	佐藤 貞一	田澤 成雄	平原 勲	山口 明
石井 睦久	神戸 俊雄	佐野 正生	多澤 秀信	平峰 敏文	山口 岩男
石川 金治	菊池 太彦	篠原 憲一	田島 照	藤井 賢介	山崎 伸郎
石坂 弘司	草野 郁	渋谷 昌憲	田中 敏夫	藤澤 亮	横井 純夫
石島 輝男	久保田元久	清水 信幸	田中 稔	藤田 進	湯本 勝
井田 賢	熊谷 武志	新川 彰	田上 嘉一	藤田 政彦	吉田 正一
板倉 治夫	倉島 明彦	清水 幸一	玉置 廣	藤野 文隆	吉田 稔
伊藤 浩之	倉増 功美	島津 哲也	千葉 守	船山 吉久	吉田 安輝
伊藤 政行	栗坂 伸生	菅谷 正志	地引 尚治	古川 公毅	吉田 征人
井上 幸夫	栗原 昌	杉浦 浩	角田 勲	古川 俊明	吉原 信貴
今宮 正純	黒淵 弘二	杉橋 要	東野 寛	堀内 康彦	若尾 啓介
岩井 壮三	小柴 昌幸	杉本 隆男	中川 良雄	堀中 逸	若林 茂樹
岩田 一昭	輿水 昭秀	鈴木 茂	中込 考仁	本間 弘	渡辺 安清
内山 一夫	後藤 旭	鈴木 秀一	長島 修一	松倉 迪郎	綿貫 朝治
江端 治郎	後藤 広治	須藤 功次	中嶋 和雄	松本 幹男	倭文 佐一
大坪 安則	小林 和雄	高尾 弘幸	中島 哲司	丸岡 敏夫	
岡上 樹	小林 一浩	高瀬 照久	中田 勝司	丸山 勝彦	
小川 和雄	小林 寛治	高木 省三	那須井幸一	三沢 英夫	
小川 恭治	小林健三郎	高田 賢一	西村 行正	水内満寿美	
岡村 浩志	小森 和雄	高橋 久夫	二宮 克弘	緑川 浩	
					第1巡から第59巡目まで
勝どき太郎	現時点の活動者		勝どき次郎	20年継続活動者	

# いろいろ取り上げられました

## 橋が語る発展の歴史

東京・隅田川には、歴史的な橋がいくつも架かっている。それぞれの橋にはそれぞれにまつられた必然性があり、橋を知ることは東京の発展の歴史を知ることでもある。橋樑の発展をめぐって振り返り出かけた。

### 東京・隅田川

隅田川にかかる橋のうち勝開橋(かちどき)橋、永代橋、清洲橋は国の重要文化財に指定されている。今回はこの3つを中心に、下流から河原橋まで歩くことにした。

まず足を向けたのは、勝開橋(1849年完成)。築地市場に隣接し、銀座からもほど近い。この橋が架かるのは臨海地区の発展の歴史だ。月島、晴海などへのアクセス向上のために架けられ、徐々に河原橋まで歩くことになった。



### 江戸、戦前、未来をつなぐ

戦前には「かちどき橋の復元」は、もともとが復興期だった。戦時中や戦後で橋の復元が難しくなることが多かった。戦後の復興期には、橋の復元が難しくなることが多かった。戦後の復興期には、橋の復元が難しくなることが多かった。

橋の復元が難しくなることが多かった。戦後の復興期には、橋の復元が難しくなることが多かった。戦後の復興期には、橋の復元が難しくなることが多かった。



見学ツアーは、本業日曜橋(祝日除く、無料)。参加には一定の条件があり、東京臨海臨港鉄道株式会社(電話:5381-3380)に事前に申し込みが必要で申し込みは、「かちどき 橋の資料館」(火、水、金、土、祝日、無料、電話:3543-5672)では

さらに歩くと、江戸の歩みが強く出る。モダンなデザインの新大橋は、もともと江戸時代からあった橋だ。隅田川に住んでいた民衆の生活の歴史が、この橋に息づいている。その時代ごとの様々な思いを、この橋に託されている。隅田川に架かる橋は、江戸時代からある。隅田川に架かる橋は、江戸時代からある。

## お立ち寄りください! ホットハンズのある街へ

ホットハンズのある街にスポットを当ててご紹介。第一回は、創業した街「勝どき」。見所やグルメをご紹介します! 勝どきから遠い方も、是非一度お立ち寄りくださいませ。



Sightseeing 勝開橋橋脚内見学ツアー 1940年~1970年まで開閉、海外の技術者を呼ばず、日本人が独力で学び作った唯一の可動橋。資料約千点をアナログで計算したことなど、日本の技術力の高さを再確認される。オリンピックに

## 「H H PAPER」 2015. 7. 14 地元ミニコミ誌

勝開橋ツアーが人気 「開閉の仕組みに驚き」 隅田川に架かる橋は、江戸時代からある。隅田川に架かる橋は、江戸時代からある。隅田川に架かる橋は、江戸時代からある。

## 日経新聞 2014. 7. 2

## 茨城新聞 2015. 8. 11

## 秋田魁新報 2015. 8. 11

## 少年ジャンプ 2011. 8



ツアーでは、東京都建設防災ボランティア協会のスタッフで、東京都を退職した熟練の土木技術者(写真の右側)が説明と案内を担当している

機械室へ下りる、高さ3.5mの垂直はしご。落下防止のため、安全帯を着ける。参加者には女性が多かった。「普段見られないところが見られてとても楽しかった」と話していた。日本国内で可動橋の数は少ないので、その内部に入るのはかなりレアな体験だ

## 日経コンストラクション 2007. 10. 26

### 「びろり、の土木日記」

## ツアー参加者が社内報に掲載 2005. 12



## 20160730\_東京新聞(東京どんぶらこ)

### 旅 Travel

## 見学ツアーが人気

隅田川に架かる勝開橋

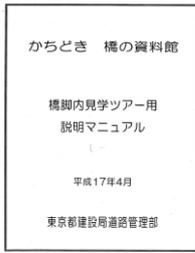
隅田川に架かる勝開橋は、江戸時代からある。隅田川に架かる橋は、江戸時代からある。隅田川に架かる橋は、江戸時代からある。

### 開閉の仕組み、歴史学ぶ

勝開橋の内部には、開閉の仕組みが再現されている。参加者は、この仕組みを学べる。勝開橋の内部には、開閉の仕組みが再現されている。







平成17年4月版



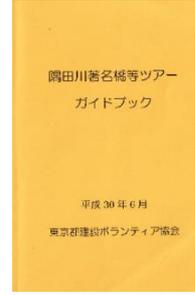
平成20年5月版



平成23年10月版



令和4年12月版



平成30年6月版

## いろいろ学んできました

年度	テーマ等
平成20年(2008)	絵図に見る隅田川河口部の歴史
平成21年(2009)	跳開橋勝鬨橋の記録
平成22年(2010)	諸外国における最新の可動橋事情
平成23年(2011)	① ガイドブックの内容説明 ② 跳ね橋の歴史
平成24年(2012)	① 日本橋400年 ② 環二隅田川橋梁
平成25年(2013)	勝鬨橋建設記録映画の放映と解説
平成26年(2014)	橋あれこれ
平成27年(2015)	橋を楽しもう全国の珍橋・奇橋
平成28年(2016)	鉄道と橋
平成29年(2017)	勝鬨橋の長寿命化工事について
平成30年(2018)	隅田川著名橋の現況と勝鬨橋の工事予定
令和元年(2019)	歴史と文化が見える橋
令和2年(2020)	コロナ禍により中止
令和3年(2021)	//
令和4年(2022)	再開に向けて説明会を実施
令和5年(2023)	橋は復興から
令和6年(2024)	勝鬨橋と可動橋
令和7年(2025)	① 勝鬨橋の修繕計画 ② 浮世絵を彩った橋

### 平成20年



絵図にある  
隅田川河口部の歴史  
～幕末から開港期へ～  
かちどき 橋の資料館

### 平成21年



東京建設橋梁ボランティア協会  
設置員 資料館定版  
東京建設橋梁所写真が伝える  
跳開橋勝鬨橋の記録  
勝鬨橋架橋工事の全記録と  
開かすの橋にいたる  
40年の記録

### 平成23年



八ッ橋の型式別事例集  
かちどき 橋の資料館

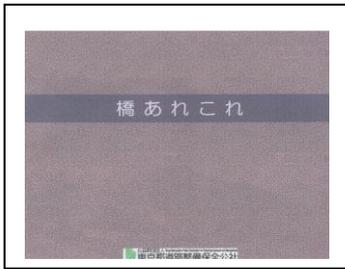
### 平成24年



平成26年

平成27年

平成28年



令和元年



令和5年

江戸時代の隅田川の橋

千住大橋 (1594年)
两国橋 (1659年)
新大橋 (1693年)
永代橋 (1698年)
吾妻橋 (1774年)

千住大橋(大橋)

文禄3年(1594年)架設  
橋長: 60間(約120m)

两国橋(大橋)

天文元年(1661年)架設  
橋長: 34間(約170m)  
職員橋

令和6年



**1万人達成**

令和7年8月28日、遂に見学者数が1万人に達しました。当日は来場者への記念品贈呈、記念写真撮影など、ささやかながらお祝いました。



参加者への記念品贈呈



参加者への記念品



8.28 関係者一同



後列； 細川 篠原専門課長(一建) 荒井 高橋 中村  
 中列； 菅谷 林 橋本 細川館長 川久保 漆戸課長 岡村  
 前列； 佐野 横井 相場会長 新井 佐藤 清水 細川 斎藤  
 (敬称略)

## 各班の紹介

### 勝どき橋橋脚内ツアー活動予定表 (58巡目)

2025.5.1 版

班 及び 支援日		各 班 氏 名				
1班	5月29日	相場淳司	大坪安則	荒井一朗	東野 寛	杉橋 要
2班	6月05日	高瀬照久	吉田安輝	後藤広治	清水幸一	島津哲也
3班	6月12日	川合康文	加藤基雄	石坂弘司	加藤昌宏	柿塚 至
4班	6月19日	小柴昌幸	丸岡敏夫	古川俊明	加藤直宣	新井敏男
5班	6月26日	片岡正英	佐野正生	野村孝雄	小林一浩	小川和雄
6班	7月03日	伊佐賢一	藤野文隆	吉原信貴	岡村浩志	岡上 樹
7班	7月10日	伊藤政行	黒渕弘二	多澤秀信	岩井壮三	野村 隆
8班	7月17日	高木省三	西村行正	内山一夫	望月 裕	久保田元久

9班	7月24日	佐藤清美	地引尚治	鈴木秀一	高橋紀男	橋本栄良
10班	7月31日	丸山勝彦	藤田政彦	高尾弘幸	高橋宏彰	長島修一
11班	8月07日	藤田進	船山吉久	池田繁敏	中込孝仁	杉浦浩
12班	8月21日	山口明	若尾啓介	佐野正生	奥秋聡克	若林茂樹
13班	8月28日	斉藤俊之	橋本一郎	高橋義明	林幹生	菅谷正志

〔1班〕



〔2班〕



〔3班〕



〔4班〕



〔5班〕



〔6班〕



〔7班〕



〔8班〕



〔9班〕



[10班]



[11班]



[12班]



[13班]

2025.8.28



2025.8.28



### 参加者からの投稿

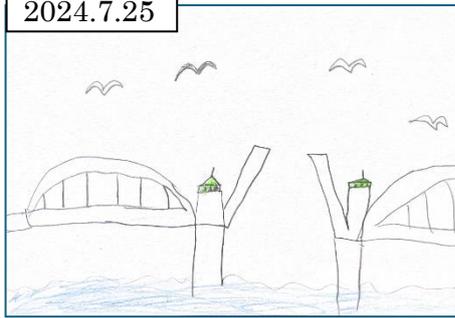
2025.3.27



ボランティアガイドのみなさんへ  
勝どき橋のそうさ板にたくさんスイッチ  
があったことや、船が通る時に橋が入る  
へやがあったことは知りませんでした。  
みんなで3.5mのはしごをおりて  
いろんなことを教えてくれたのも楽しかった  
です。橋のことをいねいに教えてくれて  
本当にありがとうございました。

杉並区 小学三年生 西わき しおり

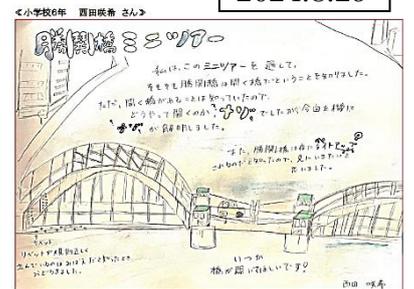
2024.7.25



このたびは勝どき橋を見学させていただき、  
どうもありがとうございました。  
まさか川の下まで潜れるとは思っておらず、  
操縦室の計器なども見て触れることができ  
貴重な経験となりました。  
「今まで何とも思っていなかった橋なのに橋の歴史  
を知れて良かった」

墨田区立菊川小学校5年 野田新平

2024.8.29



2024.8.29



## 1 最近の開催状況（令和6～7年度）

### (1)開催回数・参加者数

- ・令和6年度 85回開催・469名参加
- ・令和7年度(※8月末まで) 37回開催・222名参加



### (2)ツアー参加者の傾向(R7.1月以降実績)

〈年齢構成〉10～30代:28% 40～50代:37% 60～70代:35% 80代～:1%

〈男女比〉男性:54% 女性:45% 無回答:1%

〈関心分野〉開閉機構:33% 勝どき橋建設史:33% 可動橋事情:17% 開閉運転方法:17%

〈参加者の満足度〉大満足:94.4%、やや満足:5.0% → 満足と回答した人 99.4%

## 2 トピックス

### 5月 ミニツアー20周年

- ・5月にミニツアーが20周年を迎えることから、公社で**20周年ノベルティグッズ(勝鬨橋をモチーフとしたスライドパズル、定規付)**を作成、4月以降のツアー参加者等へ配布しました。



### 8月 ミニツアー参加者1万人達成

- ・8月28日、ミニツアー参加者が**1万人を達成**(現在延べ10,001人) ボランティア協会主催で、記念イベントを実施しました。ツアーに参加いただいた皆さんと記念撮影を行うとともに、工夫を凝らした記念品を贈呈しました。



### 9月 勝鬨橋長寿命化工事に伴うミニツアー中止

- ・勝鬨橋の塗装工事が行われるため、**9月から来年3月までのミニツアー中止が決定**

### 10月 代替ツアーを実施

- ・代替として、隅田川著名橋等ツアーを実施
- ・船の休止等もあり、10月、11月の2回開催 **計36名が参加**、抽選倍率4～6倍
- ・令和8年度は、4月から勝どきミニツアー再開の予定



### 3 アンケート結果(自由意見抜粋)

- ・1940年当時の日本及び世界の国際情勢を併せて学び、当時の日本の建築技術がどうだったのかを学んでからまた来たい。日本の技術力の高さを学ぶことができた。ありがとう。
- ・ビデオや写真でみた橋の内部構造を実際にみることでとても貴重な経験になった。当時の設備がそのまま残っていることに驚いた。これからも維持していただけると嬉しい。
- ・スタッフのみなさまが丁寧で親切。説明の内容とともに大変勉強になった。今後ともこのような有意義な活動を続けていただきたい。
- ・説明がとてもわかりやすく個別質問にも対応してもらい、その手厚さがよかった。理解を深めることができた。特別感があるのもっと多くの人に知ってもらええるようにしてほしい。
- ・とても興味深く貴重な経験ができありがとう。はしごや階段が高くて怖かったですが「ゆっくりで大丈夫」など安心できる声掛けをしていただきありがとう。
- ・ガイドの職歴がおもしろく、携わった橋のプロジェクトの話などは自分の知識ともつながって面白かった。ガイドリーダーはもちろんその他のガイドの説明もわかりやすく勉強になった。
- ・最近小学校で開閉する橋について少し勉強したのでこのツアーにとっても興味があった。開閉する仕組みについて直に知ることができたので、とても楽しかった。
- ・あっという間の90分。1万人達成の日に立ち会えて感激。お土産ももらいありがとう。ツアー中の説明も興味のある内容が網羅されていてよかった。また参加したい。
- ・勝どき橋は昭和初期に開催される予定だった万国博覧会のメインゲートとして考えられていたそうですが、そのあたりのお話を伺いたい。

※評価のキーワードとしては「優しい」「親切」「分かり易い」「楽しい」「よかった」「勉強になった」などが上位に上がりそうです。

(資料提供;東京都道路整備保全公社)

#### 隅田川著名橋等ツアー研修会 (2025.9.4)



「継続は力なり」、言い古された言葉ですがミニツアーの活動には一番似合います。協力会員の皆様には、これからも猛暑の中、極寒の中でも休まず続くボランティア活動を改めてお願いいたします。また、これから参加したいという会員の方々には、ぜひお声をかけていただければ幸いです。

発行人 相場 淳司

発行 東京都建設防災ボランティア協会

新宿区西新宿 2-7-1 新宿第一生命ビル 20F(公財)東京都道路整備保全公社内

編集 勝鬨橋ミニツアー20周年記念誌編集委員会

岡村浩志、佐野正生、島津哲也、西村行正、林 幹生

